

元気な笑顔と元気な

平成28年度

あいさつ千代田の子 ～

千代田小の子ども達!!

千代田の子ども達の様子を、紹介してみましよう…。

- ① **全員が一輪車に乗れます。上級生が下級生に教えるので、1年生もしっかり乗れるようになりました。**
<今年度は、1年生がいませんでしたが毎年乗れています>
- ② **全員が年1回、みんなの前でスピーチをします。卒業までには6回行うので、人前でも堂々と話ができるようになります。**
- ③ **全員で体力づくりに取り組んでいます。上級生から学びながら、一輪車検定や縄跳び検定で技に挑戦しています。昼休みや中休みに、縦割り班遊びや全校遊びを行い異年齢集団で仲良く遊んでいます。**
- ④ **少人数を生かし、先生方と一緒に楽しくしっかりと勉強を頑張っています。**

…なので、いつも笑顔が絶えません。もちろん清掃活動も、一人ひとりが責任もって行っています。2年生が、1年生に指導していたり教えていたりする場面を見ると成長や頼もしさを感じます。<毎年のことですが、昨年の2年生もしっかりとやさしく声をかけていました>

千代田小学校は、今年で創立143周年を迎えました。その長い歴史の中で、「千代田荘との交流」は36年間、「1分間スピーチ」と「一輪車」は31年間という長い年月にわたり続けてきた伝統的な活動です。これは、合唱活動を含め、千代田小の4本柱となる大きな特色です。ここで、「1分間スピーチ」と「一輪車」を紹介します。

◆「1分間スピーチ」は、表現力を養うための活動の1つです。児童一人ひとりが自分の思いを、自分の言葉で表現する貴重な体験の場です。一人ひとりがテーマを決め、全校児童や保護者、地域の方々の前で堂々とスピーチします。発表の内容については、自分で話したいことを考え、文章の構成をしっかりとし、筋道を立てて分かりやすく話をするように心がけます。

発表後、聞いている児童から質問や意見、感想がたくさん出されますが、それらに臨機応変に対応することで、更に表現力が磨かれます。この会は、地域の方や保護者も参加者し、温かな心が通い合う雰囲気の中で進められます。冒頭にも書いたように、地域の方々や進学先の中学校からも、千代田小の児童は、卒業後も進学先で堂々と自分の意見を述べる事ができると良い評価を頂いています。

◆「一輪車」は、たくましい心と体をつくるために取り組んでいます。年に2回の一輪車検定に向けて、朝の活動や休み時間を使って積極的に一輪車の練習に励んでいます。また、運動会で行う全校での一輪車パレードはかなり見応えがあるもので、毎年保護者や地域の方から大絶賛されています。毎年、入学してきた児童が半年後に、一輪車に乗って演技する姿は感動を呼びます。また、上級生が下級生に教えている姿も、千代田小の伝統的な特徴の1つです。

今後も小規模校であることを利点として、一人ひとりの個性が発揮できる特色のある教育活動を推進していきたいと思えます。